



山口大学応用分子生命科学常盤台コロキウム

Tokiwadaï Colloquium in Yamaguchi University

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキウムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第 41 回 2013 年 9 月 20 日（金）午前 10 時 20 分より

総合研究棟（電気棟）2号館1番講義室



北海道大学 大学院 工学研究院 特任准教授
山本靖典先生

「トリオールボレート塩を使う有機合成」

山本靖典北海道大学特任准教授は、鈴木章北海道大学名誉教授（2010年ノーベル化学賞受賞）、そして同大宮浦憲夫教授の下で一貫して有機ホウ素化合物の合成化学的利用に関してご研究をされてきました。現在では、有機ホウ素の中でも有機ボロン酸を用いるクロスカップリング反応は、液晶、有機EL、そして医農薬品など私たちの身近に欠かせないものに活用されており、今やホウ素なしには現在の豊かな生活が成り立たないと言えます。本講演では、そんな有機ボロン酸の性能を凌駕する有機トリオールボレート塩のお話をさせていただきます。有機トリオールボレート塩は有機ボロン酸の欠点である反応性や保存性を克服し、クロスカップリングのみならずアミノ化や不斉付加反応へと幅広い合成反応にて絶大な効果を示しています。それらの詳細について、詳しい説明と共に発見に至った経緯などをお話いただきます。

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。

多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）
理工学研究科物質化学専攻 西形孝司（9261）

